



看護師として働く母親を見て育ち、自分も医療の道に進んで人の役に立つ仕事をしたいと思ったという石井さん。「性格的に人前に出るのは苦手ですが、高校生のときに医療を支える臨床検査技師という仕事があると知り、この道に進もうと決めました」と話す。検査技術学の勉強は、医学の知識も必要で、学ぶことの多い専攻だが、やりがいも大きいと石井さんは語る。

石井修平さん

医学部保健衛生学科検査技術学専攻3年◎剣道部所属

東京医科歯科大学の剣道部は、16人の部員のうち6人が初心者。医学部保健衛生学科検査技術学専攻3年の石井修平さんも、大学に入学してから本格的に剣道を始めた。中学、高校時代は陸上部だったが、大学では新しいことに挑戦したいと思い、剣道部に入学したという。

「剣道は高校の体育の授業で少し経験したことがある程度でしたが、東京医科歯科大学の剣道部は、人数は少ないけれど面白い人が多く、一方で練習のときは真剣に取り組む姿勢を持っていることに魅力を感じ入部を決めました」

剣道では、面、胴、小手のいずれかを打つ、または突くときの、当たり具合、声、打ち終わりといった一連の流れがそろってはおじめて「二本」となる。試合を見ている、どうやって勝敗が決まるのかわからなかったという石井さんだが、練習を重ねる中で自分でも一本を取れるようになっていった。

「自分と同じように初心者から始めて、すごく強くなった先輩が目標です。練習中や試合中はとにかく先輩たちをよく見て、打つまでのせめぎ合いや体の動かし方な

どを参考にしています。自分でも一本が取れたこともうれしいですが、そのときに先輩から褒められるのもうれしいです」

剣道に打ち込む一方、3年になり、学業も忙しくなってきた。血液検査や免疫検査など、本物の検体を使った実習も増えた。

「特に興味を持っているのが心電図検査です。まだまだ勉強が必要ですが、最近では少し心電図を読めるようになりました。わずかな波形の違いから心臓のことや病気を読み取ることのできる心電図がとても面白いです」

興味を持ったテーマを深めるべく、進学も視野に入れている。

「せっかく東京医科歯科大学に入学したからには、大学院に進学したいと思っています。最終的には別の分野になるかもしれませんが、最も興味のある心臓の生理検査の研究を行ってみたいです」

夏にはラオス研修に参加し、途上国の医療を自分の目で見てくるという石井さん。

「海外へ行くのも初めてなので、学生のうちにできることを一杯がんばりたい」と、忙しくとも充実した毎日を送っている。

臨床検査技師として
たくさんの人の
健康を守りたい



東京医科歯科大学の剣道部は、千葉大学や順天堂大学の剣道部と合同で練習を行うなど他大学との交流の機会も多く、常に和気あいあいとした雰囲気の魅力である。